

## 学習の手引き

3年生

教科	観点の内容	
理科	知識 技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
		<p style="text-align: center;">おもな評価の項目（予定）</p> 各テスト（小テスト、定期考査）、観察、実験レポートの内容 など
	思考力 判断力 表現力	<p style="text-align: center;">観点の内容</p> 自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
		<p style="text-align: center;">おもな評価の項目（予定）</p> 各テスト（小テスト、定期考査）、観察、実験レポートの内容 観察、実験、調査に関する発表、 など
	主体的に学 習に取り組 む態度	<p style="text-align: center;">観点の内容</p> 自然の事物・事象に進んでかわり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
		<p style="text-align: center;">おもな評価の項目（予定）</p> 実験レポートなどの記述、授業の取り組み など
学習の進め方のヒント		
<p>①章や単元の学習ごとに、「ワーク」や「Qubena」を活用して自分の学習をふり返りをし、学習したことを正しく表現できるようになっているか、また、生活の中で活用されている場面につながられているか考えるようにしましょう。（主に「主体的に学習に取り組む態度」）</p> <p>②予習をして授業に臨むようにすることが最善ですが、実験や観察などに対してわかっているつもりで臨むと、新しい発見や驚きが減少したり、現実の結果と理想の結果の違いにかえて悩むことにもつながります。授業の中で取り組んだ内容や取り組みを他の場面でも活用できるように身に付けていきましょう。失敗したことを生かしていく姿勢が大切です。（主に「思考・判断・表現」）</p> <p>③科学的な用語については、その意味を説明できるようにすることです。さらに、実験、観察の進め方や、科学的事象についても、その仕組みや理由を添えて説明できるようになることを目指すと定着しやすくなると思います。（主に「知識・技能」）</p> <p>④授業ではペアワークやシミュレーションソフトを用いての事象の確認があります。ペアワークでは自分の意見を相手に伝えるとともに、相手の意見をしっかり受け止めることを心がけましょう。また、実験や観察では人頼みにせず、まとめるところまで自分一人でもできるようにするつもりで取り組みましょう。</p>		